



健康講座

さくら会病院では、みなさまに病気の予防や最新治療について少しでも知識を深めていただき健康増進、維持に役立てていただけるよう「知っておきたい健康（医療）のこと」をテーマに今年も健康講座を開催いたします。みなさまお誘いあわせの上、是非ご参加ください。



日時：令和元年 10月19日（土） ◎ 開場 12:30

会場：大阪狭山市文化会館（SAYAKA ホール） 大ホール

大阪狭山市狭山1丁目875-1：大阪狭山市駅より徒歩3分
駐車場あり（駐車料金無料）

参加無料・参加予約不要

開会のご挨拶

テーマ.1 (13:00~13:50)

再生医療について

従来、脳に損傷を受けると神経細胞の再生は難しいと言われておりましたが、iPS細胞を用いた再生医療でノーベル賞を受賞されて以来、再生医療が注目を浴びるようになってまいりました。脳神経の疾患では、パーキンソン病あるいは脊髄損傷に対して、再生医療が始まっていますが、まだ臨床への応用は、コスト、安全性、癌化などの点で問題を抱えており、皆さんが恩恵を受ける状態にはありません。さくら会病院では、脳梗塞の患者さん自身の脂肪細胞から幹細胞を取り出し、一か月ほど培養して、静脈からの全身投与により、必要な部位に幹細胞が定着する治療法が認可されましたので、この度の健康講座でこの治療法を紹介させていただきます。



理事長 脳神経外科

講師 伊原 郁夫

テーマ.2 (13:50~14:30)

脳梗塞について

脳梗塞は頭頸部の血管が狭窄または閉塞することにより、脳の神経細胞が虚血に陥る病気です。虚血時間が一定期間を超えると神経細胞に不可逆的なダメージが及びますが、早期に治療介入することで脳梗塞に陥る範囲を最小限に留めることが出来ます。近年、脳卒中急性期患者様に、カテーテルを用いた治療が推奨されるようになりました。脳梗塞がどのような病気なのか、またどのように治療を進めていくのか、この健康講座でご紹介させていただきます。



脳神経外科 医長

講師 萩原 伸哉

テーマ.3 (14:40~15:20)

糖尿病ってどんな病気？

糖尿病は生活習慣病の一つであり、厚生労働省の2016年国民健康・栄養調査によると、糖尿病が強く疑われる人は約1000万人、糖尿病の可能性を否定できない人も約1000万人と推計されています。糖尿病はとても身近な病気ですが、どのような病気なのでしょう？ 糖尿病の病態（糖尿病になると体の中はどんな状態になっているのか）や糖尿病に関連する検査、糖尿病の合併症、予防法など、みなさんからの質問が多い項目についてお話しします。



内科 医師

講師 宮本 恭子

最後に素敵なゲストを迎え演奏会を開催致します♪ (15:30~)

出演：理事長 伊原郁夫（サククス） ゲスト 赤松舞子（ボーカル） 大石浩之（ピアノ） 須崎健二（ベース）

問い合わせ

社会医療法人さくら会 さくら会病院 〒589-0011 大阪狭山市半田 5-2610-1
電話：072-367-0266（直通） ●主催：さくら会病院 広報委員会

